

ロードマップページ	総合計画審議会における主な意見	意見に対する考え方(修正案等)
1 9	吹田のイメージ・特徴を考える際には、空間でとらえるのではなく、時間軸で見たり、歴史や文化などの観点からの考察も必要である。	指摘事項に留意し、今後審議会への対応を検討します。(歴史的な特徴の資料提供などの模索)
2 22	「(6)市民力・地域力の向上」について、地域の大きな力である自治会についても記述すべき。	<p>【修正前】 本市は地域によって異なる特色を持っており、地域が抱える課題もその内容や程度は様々です。地域の特色を生かしながら、地域固有の課題を解決し、望ましい地域を創造するためには、そこで住み、働き、学ぶなど日々の生活から感じられることを反映することが重要です。このため、地域のことは地域で決める主体的な地域運営の確立に向け、市民や事業者の意識の向上やNPOの育成など市民力・地域力を向上することが必要です。</p> <p>【修正後】 本市は地域によって異なる特色を持っており、地域が抱える課題もその内容や程度は様々です。地域の特色を生かしながら、地域固有の課題を解決し、望ましい地域を創造するためには、そこで住み、働き、学ぶなど日々の生活から感じられることを反映することが重要です。このため、地域のことは地域で決める主体的な地域運営の確立に向け、市民や事業者の意識の向上や地域づくりの主体となる団体の育成支援などにより市民力・地域力を向上することが必要です。</p>
3 22	「(6)市民力・地域力の向上」で、「地域のことは地域で決める主体的な地域運営」などの記載があるが、地域主権改革の流れからしても、吹田市が市民に身近な基礎自治体として分権型社会を先導していくといった決意を入れた方が良いのではないか。	指摘事項に留意し、今後の審議会への対応を検討します。
4 25 32 33 34	基本方針とルート、基本姿勢とベースなど意味は同じだが表現が異なり、言葉の整理が必要である。	基本方針とルート、基本姿勢とベースは同じ意味で使ってきましたが、指摘のとおり分かりやすさということからは、どちらかに統一した文言として整理した方が良いと考えられます。そこで、計画における機能としてのイメージから、「ルート」と「ベース」に統一することが考えられます。
5 32	- 2は人権という広い概念・抽象的な表現となっているが、- 3はDV被害など具体的な表現がされており、レベルを合わせる方が良い。	- 3 【修正前】 「DV被害や女性に対する暴力がない男女共同参画社会になっています」
6 32	- 3で、男女共同参画社会はDVや女性に対する暴力と別概念であり、関連があるような表現となっているので修正すべき。	【修正後】 「すべての人が性別にかかわらずいきいきと活躍し、安心して暮らすことのできる男女共同参画社会になっています」

総合計画審議会意見等による基本構想(素案)の修正案

ロードマップページ	総合計画審議会における主な意見	意見に対する考え方(修正案等)
7 32	- 5の「国や地域の人」の意味が分からない。	【修正前】 「国や地域の人との交流が育まれています」 【修正後】 「国内外の交流をとお互いの理解を深め、個性豊かな魅力的なまちになっています」
8 32	福祉の対象が高齢者、障がい者のみのように見えるが、子どもも対象に含まれるので、ロードマップの「福祉」の枠組みの中に子どもの福祉という観点もあるということを誤解を招かないように入れていくべきである。	指摘事項に留意し、今後の審議会への対応を検討します。
9 32	子どもをどのような視点でとらえるかは今後議論が必要である。また、子どもを取り巻く環境が悪化していることにも言及すべきである。	指摘事項に留意し、今後の審議会への対応を検討します。
10 32	- 5の生涯学習と - 6の生涯スポーツは、人と地域をいきいきさせる、人と人とのつながりを作るという面で1つにくれると思う。	吹田市では健康づくり都市宣言を行い、積極的に市民の健康・体力づくりに取り組んでいます。また、生涯スポーツ、競技スポーツなど様々なニーズに対応した取組を行っています。 こうした吹田の特長をアピールする意味でも、スポーツの分野を一つのまちのイメージとして位置付けることが重要であると考えています。
11 32	目次から担当と施策が分かることが重要ではなく、例えば、尼崎市の総合計画では、福祉はほとんどの施策に関係しているが、目次には出てこないといった事例もある。	- 4 環境教育・環境学習については、学校教育、生涯学習など関連する施策で環境への意識を高めることが必要であり、施策の関連付けを表現することにし、環境分野のまちのイメージから外すことを考えています。 【修正前】 「環境教育・環境学習の機会が充実しています」 【修正後】 削除
12 33	政策の枠組みのくり方や書きぶりは検討が必要。例えば、- 7の水道と - 8の下水道を一本にして、清らかな水を子孫に残していくというメッセージにすることが重要ではないか。	水道と下水道の各事業について、水の循環ということでは共通部分はありますが、雨水による浸水被害の防止やライフラインとして不可欠である上水道における水の供給というように各事業の目的とするところが異なるため、それぞれを一つのまちのイメージとして考えています。
13 全体構成	基本姿勢と基本方針の関係がよく分からないが、基本姿勢で「市民主体のまちづくり」を中心として出していくなら、基本姿勢を先頭に書くべきでは。	指摘事項に留意し、今後の審議会への対応を検討します。
14 -	吹田の文化は後継者不足の状況であり、後継者育成に市民会館が果たしてきた役割は大きいものがある。	指摘事項に留意し、今後の審議会への対応を検討します。